

2-(1) 原子炉建屋における地震観測記録

観測値

表1 保安確認用地震計の
最大加速度値

(ガル)

	1号機		
	NS	EW	UD
トラス室	251.2	195.3	133.4
CS(B)室	221.6	181.5	120.2

NS: 水平方向(南北)

EW: 水平方向(東西)

UD: 鉛直方向(上下)

表2 建屋観測用地震計の
最大加速度値

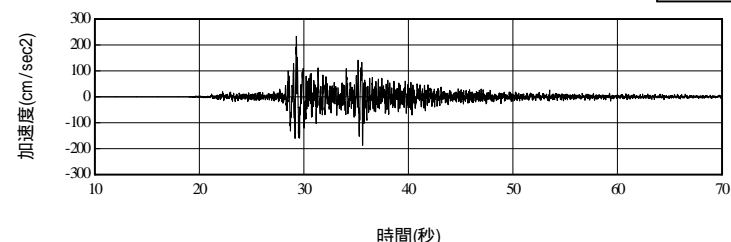
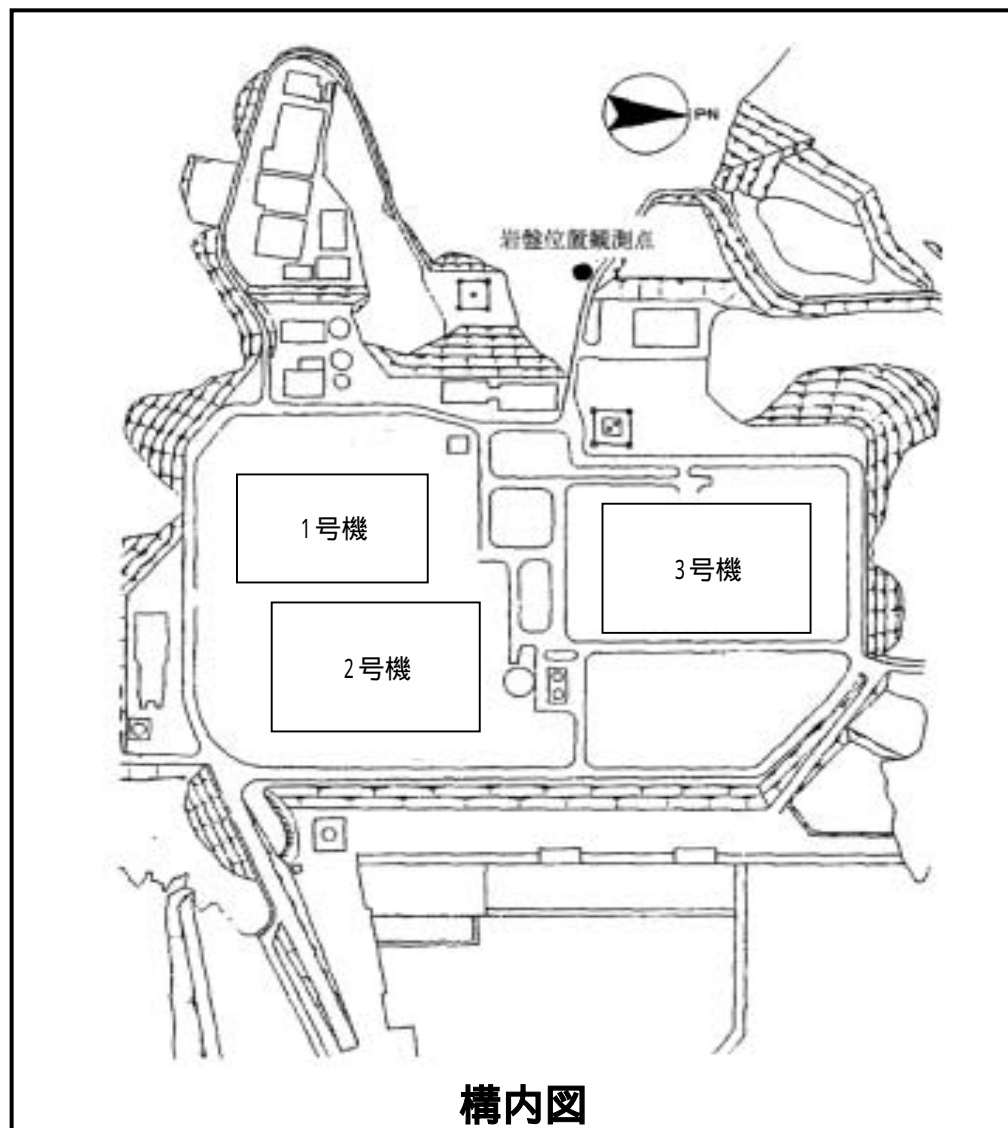
(ガル)

	1号機			2号機			3号機		
	NS	EW	UD	NS	EW	UD	NS	EW	UD
基礎版上	263	194	164	230	206	186	238	176	201
1階	326	243	177	365	283	180	323	282	238
5階(1号) 3階(2,3号)	910	714	445	803	558	412	520	518	475
屋上	1449	1424	525	1442	838	494	1024	867	668

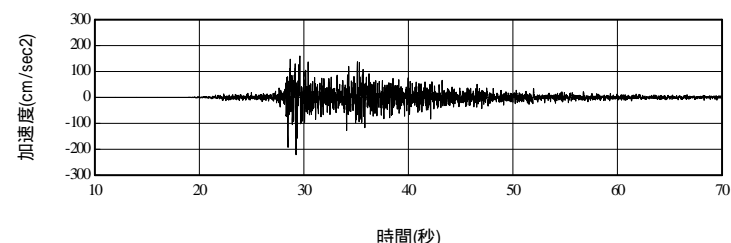
最大設定値を振りきれているため参考値。

2-(2) 女川原子力発電所構内岩盤位置観測点および観測波形

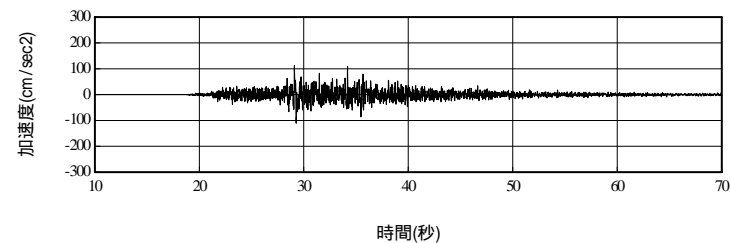
観測値



O.P. -8.6m 観測記録 加速度波形 NS方向 MAX=233Gal



O.P. -8.6m 観測記録 加速度波形 EW方向 MAX=221Gal



O.P. -8.6m 観測記録 加速度波形 UD方向 MAX=112Gal

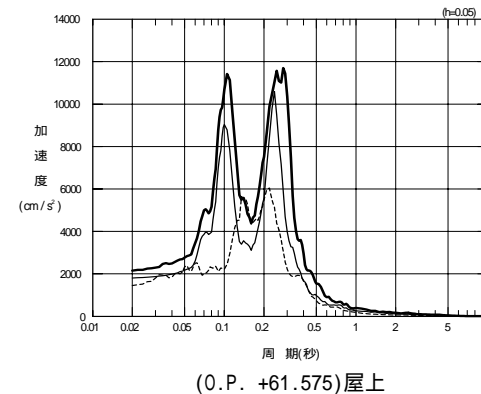
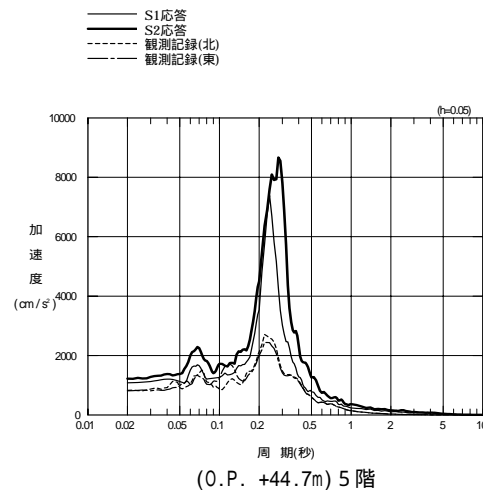
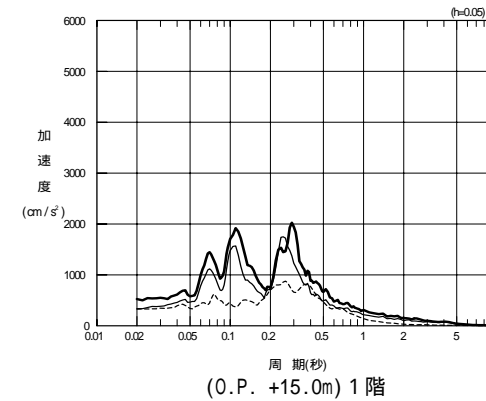
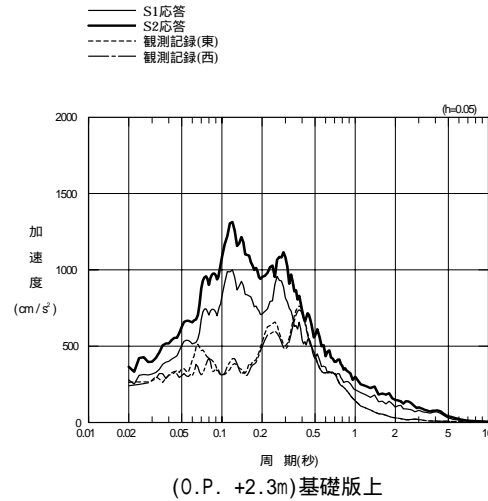
岩盤中の観測波形

2-(3) 加速度応答スペクトルの比較

(女川1号機原子炉建屋, NS方向, 基準地震動S1,S2に対する応答と観測記録)

観測値

(減衰 5%)



評価結果: 機器の設置されていない屋上を除き, 全ての周波数帯で今回の地震による床応答スペクトルは基準地震動S2による床応答スペクトルを下回った。

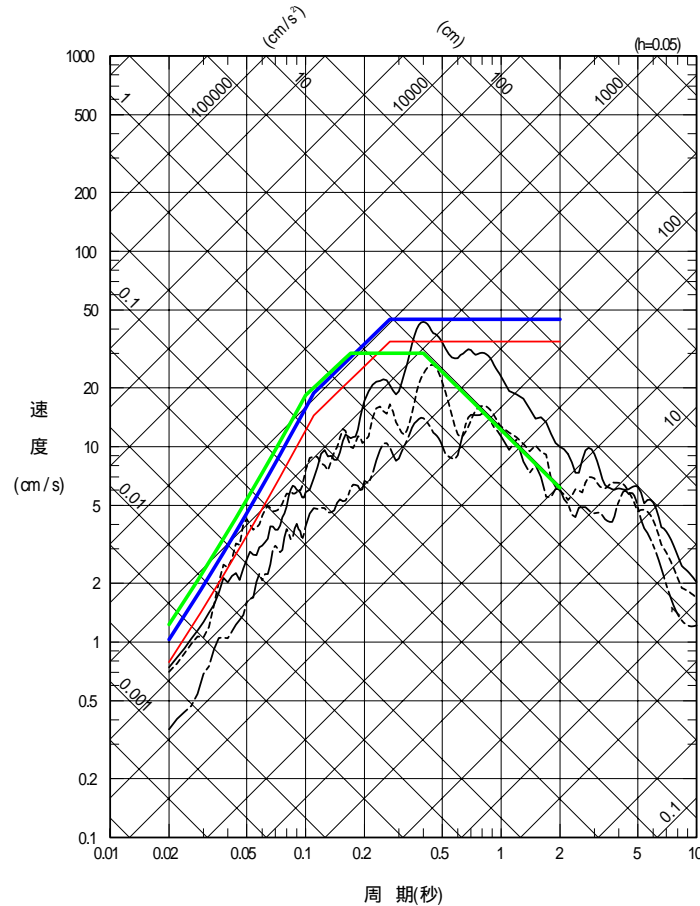
2-(4) 岩盤における応答スペクトル

- 観測記録(南北方向)
- 観測記録(東西方向)
- 観測記録(鉛直方向)
- 基準地震動S1(過去の地震から策定)
- 基準地震動S2(プレート境界地震等から策定)
- 基準地震動S2(直下地震)

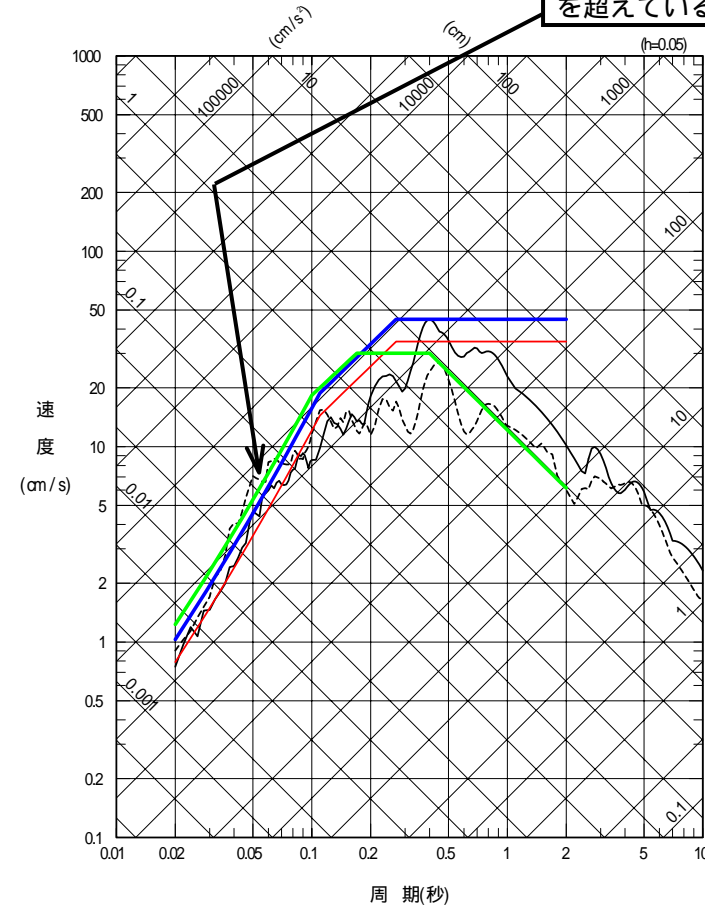
- 上部地盤の影響を除いた場合(南北方向)
- 上部地盤の影響を除いた場合(東西方向)
- 基準地震動S1(過去の地震から策定)
- 基準地震動S2(プレート境界地震等から策定)
- 基準地震動S2(直下地震)

解析値

短周期部分で基準地震動S2
を超えている。



岩盤中の観測記録の応答スペクトル



解析的に上部地盤の影響を取り除いた
応答スペクトル